



# 図書だより

令和3年7月16日

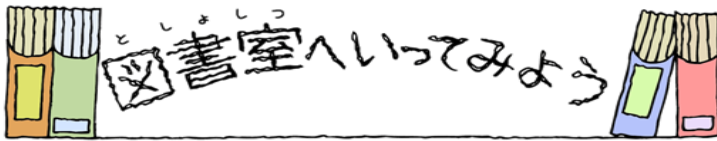
## 第1号

横浜市立神奈川小学校  
校長 田名部 和美  
学校図書館担当

早いもので、まもなく夏休みに入ります。

新しい学年になって3か月、たくさん子どもたちが読書を楽しんでいます。時間のできる夏休みには、長編やシリーズなど、普段できない読書にも参加してほしいと思います。

図書委員会では、読み聞かせやスタンプカードなど、全校のみんなが本を好きになるための活動を計画しているので、ご期待ください！



### ◆今年度担当職員の紹介◆

渡辺 りつ子（6年1組担任）  
芝山 静江（5・6・7・8組担任）  
加藤 美紀（学校司書）



＜市民図書 毎週土曜日10:00～  
（夏休み中はお休み）＞

神奈川小の図書室では、休み時間にも市民図書の本も借りられることができます。市民図書は、毎週土曜日10:00～開放しています。

夏休みにもぴったりの楽しい本がたくさん紹介されています。

読書感想文の課題図書も図書室前で紹介しています。



### 📖 夏休みの貸出 📖

12日（月）からは、夏休み貸出期間です。夏休みの貸出は1人3冊です。

8/27（金）～8/31（火）は返却期間、9/1（水）から通常通りの貸出を始めます。

（裏面には青少年読書感想文コンクールのお知らせがあります）

# 青少年読書感想文コンクール



長い夏休みだからこそ、子どもたちが本に親しむ機会をつくり、読書の楽しさ、すばらしさを体験できる取り組みだと思います。ぜひお子さんと一緒に、読んでみてください。

<原稿の形式>

- ① 題名・児童名は欄外に書き、原稿用紙1行目から本文を書き始める。
- ② 末尾に書名・作家名・出版社名を記入
- ③ 字数 低学年800字以内・中高学年1200字以内（字数は規定文字数の90%以上）

<読書感想文を書くときにしてはいけないこと>

- 他の人が書いた感想文を一部でも移して使うこと。本のあとがきや帯の文を写して使うこと。
- 人を見下したり、差別したりする内容や言葉を書くこと。書いてしまった言葉で傷つく人がいること。

【課題図書】このほかに、自分で選んだ自由図書の部があります。

<h2>12年生 小学校低学年の部</h2>			
<h3>あなふさぎのジグモンタ</h3>  <p>とみなが まい 作 たかお ゆうこ 絵</p> <p>ジグモのジグモンタは「あなふさぎや」。洋服にあいてしまった穴をふさぐ仕事です。でもこのごろは、みんなすぐに新しいものをほしがり…。</p> <p>ひさかたチャイロ</p>	<h3>そのときがくるくる</h3>  <p>すずき みえ 作 くすはら 順子 絵</p> <p>みんな、きらいな食べ物があるよね。おじいちゃん「今はきらいでも、いつかおいしく食べられるときがくるぞ」っていうけど、ほんとかな？</p> <p>文研出版</p>	<h3>みずをくむプリンセス</h3>  <p>スーザン・ヴァーデ 文 ピーター・H・レイノルズ 絵 さくま ゆみこ 訳</p> <p>あさはやくおきて、ずっととおくまで、きょうもわたしは、みずをくみにいく。アフリカの水くみをする少女の1日をえがいた絵本です。</p> <p>さくらえら</p>	<h3>どこからきたの？ おべんとう</h3>  <p>鈴木 まちる 作・絵</p> <p>みんなの愛情、いっっぱいつまってる！ おいしいおべんとうの中身は、どこから来て、どうやって食べられるようになったの？ わかるかな？</p> <p>金の星社</p>
<h2>34年生 小学校中学年の部</h2>			
<h3>わたしたちのカメムシずかん やっかいものが宝ものになった話</h3>  <p>鈴木 海花 文 はた こうしろう 絵</p> <p>くさい虫、カメムシ。みんなで学校のまわりを探してみたら、35種も見つかった。宝みたいなカメムシもいたよ。どんな図鑑ができるかな？</p> <p>福音館書店</p>	<h3>ゆりの木荘の子どもたち</h3>  <p>富安 陽子 作 佐竹 美保 絵</p> <p>77年前の「あの子」との約束をはたすため―。突然、子どもになってしまったゆりの木荘のおばあさんたちの時を超えたファンタジー。</p> <p>講談社</p>	<h3>ぼくのあいぼうはカモノハシ</h3>  <p>ミヒヤエル・エングラール 作 はたさわ ゆうこ 訳 杉原 知子 絵</p> <p>ドイツにすむ男の子ルルスは、動物園からにげだしたカモノハシにたのまれ、オーストラリアに帰るを手伝うことに…！ ゆかいな冒険物語。</p> <p>徳間書店</p>	<h3>カラスのいいぶん 人と生きることをえらんだ鳥</h3>  <p>眞田 素子 著 岡本 順 絵</p> <p>カラスには、毎日の時間割があるって知ってますか？ 遊びを發明したり、子そだてをがんばったり…知れば知るほど、カラスっておもしろい！</p> <p>童心社</p>
<h2>56年生 小学校高学年の部</h2>			
<h3>エカシの森と子馬のボンコ</h3>  <p>加藤 多一 作 大野 八生 絵</p> <p>子馬のボンコは長老の木・エカシと不思議なカメムシたちと森でくらしている。季節の移ろいとやがて大人になるボンコをみずみずしく描く。</p> <p>ポプラ社</p>	<h3>サンドイッチクラブ</h3>  <p>長江 俊子 作</p> <p>珠子はダブル塾通いの小学6年。そこで別の学校の成績優秀なヒカルと出会う。性格や生活環境も違う2人が互いを認め成長していく。</p> <p>岩波書店</p>	<h3>おいで、アラスカ!</h3>  <p>アンナ・ウォルツ 作 野坂 悦子 訳</p> <p>転校生のスフェンはパーケルをからかうイヤな男の子。けれど、音調っていた大好きなアラスカがスフェンの介助犬だと知ったパーケルは…。</p> <p>フレーベ</p>	<h3>オランウータンに会いたい</h3>  <p>久世 濠子 著</p> <p>いまだ謎がいっぱいのオランウータンの生態。食生活、子育て、不思議な習性、驚きの進化…さあ、未知の世界をのぞいてみよう！</p> <p>あかね書房</p>